

第2回チャレンジカヌーツーリング

1. ねらい

国立大洲青少年交流の家では、昭和51年度より肱川を利用してのカヌー研修を導入し、当所を核としてそのカヌー活動の輪が広がっている。カヌー活動の中でもカヌーツーリングは困難もあるが、それに挑戦し、完漕した達成感は大い。カヌー活動をとおり、水に親しむとともに、地域の活性化や清流「肱川」の美化を図る。

2. 実施日

平成23年9月11日（日）

3. 活動場所

肱川

4. 参加対象・参加者数

親子18組37名 中高生18名 一般22名

5. 講師

大洲市カヌー協会・国立大洲青少年交流の家所員

6. 日程

9:00 9:30 10:00 12:30 頃到着予定 13:00 13:20

集合	受付	開会式	カヌーツーリング	閉会式	解散
----	----	-----	----------	-----	----



7. 活動内容

秋晴れの空の下、参加者やスタッフが祇園大橋上流の河川敷に集合し開会式を行った。所長のあいさつの後、来賓の方々を紹介し、いよいよカヌーツーリングのスタートである。

参加者77艇、カヌースタッフ22艇の総勢99艇が肱川に浮かんだ。9時55分スターターのピストルの音を合図にスタート地点を出発した。スタート早々、瀬と竹藪があったものの、スタッフの適切な対応で無事通過することができた。ゆったりとした肱川の流れに乗り、さわやかな風を感じながら水面から眺める景色は格別であった。また、約100艇が川幅いっぱいになってくる様子は壮観であった。参加者の中には、まっすぐ漕いでいるつもりでも、なかなかうまく前に進まず苦勞していた人もいたが、カヌー協会スタッフの根気強い指導のおかげで、だんだんうまく漕げるようになった。後半は、向かい風で白波が立ち、前に進みにくい状況になったが、がんばって漕いでいくことができた。休憩地点の大和大橋で、バナナと飲み物を摂り、長浜大橋（日本最古の開閉橋）へ向けてラストスパートである。12時25分頃、長浜大橋の開閉部分が開きはじめ、その下を先頭集団が通り過ぎていった。向かい風に苦勞しながら、リタイヤすることなく約10kmの距離を漕ぎきった参加者の多くは、大変疲れていたものの満足した表情を見せていた。カヌーの片づけが終わった参加者は、清掃活動を行い、ゴール地点の海岸はとてもきれいになった。閉会式の後、開閉橋をバックに記念撮影を行い解散した。参加者は年齢層が幅広く、技量や体力の差があったが、各自が体力の限界に挑戦した結果、先頭と最後尾の差が30分程度しか開かなかった。参加者及び運営スタッフともに大きな達成感を得た心に残る一日となった。